



本校マスコットキャラクター たぬきのポン助ときつねのへえちゃん

学校だより 5月号

令和 6 年 5 月 1 日
中野区立平和の森小学校
校長 山崎 義弘
<http://nk-heiwanomori-e.a.la9.jp/>
TEL 03-3389-1451



叱ることをちょっと待って考えたいこと

校長 山崎 義弘

「十人十色なカエルの子」というお話

『十人十色なカエルの子』という本があります。いろいろな個性をもったカエルが登場します。

- おしゃべりは得意でも、作業が苦手なカエルの子。
- いろいろな音がごちゃごちゃになって聞こえるカエルの子。
- 字を読んだり書いたりするのが苦手なカエルの子。
- こだわりが強いカエルの子。茶色の葉の上にいて、ほかの仲間と交わらない。
- 自分が知りたいことを聞きまくるカエルの子。相手が困っていてもおかまいなし。
- 気が散りやすいカエルの子。一度にたくさんもののに興味をもち、何をしようとしていたのかわからなくなる。
- はやとちりするカエルの子。友達が目の前に来るとぶつかると思って押してしまう。

これらのカエルの子は、私たちの周りにもいるように感じます。私自身、「気が散りやすいカエルの子」と似ているかも、と感じます。

自分のことを「大丈夫だ」と思う気持ち

これらのカエルの子は、ほかのカエルの子より行動が遅くなったり、違うことをしてしまったりすることがあるでしょう。そして、これらのカエルの子が、他のカエルの子との違いや集団生活を送るうえでの行動の切り替えなどについて、指導され続けると、または、叱られ続けると、「ボクって、いけない子なんだ」という気持ちを抱いてしまうこともあります。この気持ちが続くようになると、自分のことを「大丈夫だ」と思う気持ち、自分によいところがあると思う気持ち、いわゆる「自己肯定感」が、下がってしまいます。心理学の書を読むと、自己肯定感が下がると、自分はダメだと自己否定・自己避難するようになったり、いろいろな取組・課題から逃げるようになたりすると、書かれています。それはそうだと思います。また、叱られると思うと、子どもは本当のことを言わなくなるということも、私は経験上感じています。これは、子どもたちが自分のことを守るために行動です。自分がまた失敗するかもしれない、叱られるかもしれないと思えば、それを避けたいと思うことは当然のことです。

叱ることをちょっと待って

カエルの子だけでなく、私たちも、それぞれに個性をもっています。ものごとを見たり、聞いたりするときの認知の仕方にも、違いがあります。個性や認知の仕方の違いから、ほかの子とは同じ行い方、学び方ではうまくいかないことがあります。そのようなとき、困っている子の周りにいる大人が、その子の個性や違いを認め、受け止め、その個性や違いがあっても大きく困ることがないように手助けすることが大切です。あるときは、その子にとってわかりやすい方法で示す。あるときは、音や映像などの刺激量を減らす。あるときは、「書く」という作業をなくす。そのような手助けが必要になるのです。カエルの子の周りにいる大人のカエルは、叱ることをちょっと待って、カエルの子の個性や認知の仕方に目を向ける必要があると考えます。

学校とご家庭が一緒になって

本校では、子どもたちの行動の背景や原因を探り、分析して、子どもたちが困っていることを減らせるようにすることで、子どもたちが安心し、自分のことを「大丈夫だ」と思い、活動や学習に取り組む意欲をもてるようにならうと考えています。そのためには、教職員がこのことを理解して対応することが必要です。このことを全教職員で共通に理解し、取り組んでまいります。また、医師や臨床心理士などの専門家と連携することも必要です。教育の分野からだけではわからないこともあるからです。

学校とご家庭とが一緒にになって、専門機関との連携を含め、子どもたちの行動の背景を探り、子どもたちが安心して過ごせるようにしたいと考えています。ご心配なこと、気になることがございましたら、いつでもご連絡ください。

子どもたちから学んでいます。

朝、正門に立っていると、「おはようございます」とさわやかな挨拶をして登校する子がたくさんいます。中には、立ち止まって、私に丁寧にお辞儀をする子、帽子をとってお辞儀をする子もいます。すばらしい挨拶をする子どもたちから、学んでいます。



学校経営の方針 今年度の重点目標

保護者会でご説明した、今年度の重点目標についてお示します。下記の(1)～(4)のほかにも、(5)主体性を育む特別活動の充実、(6)チーム学校としての組織的取組、(7)保護者・地域に開かれた学校づくり、(8)服務の厳正の徹底に取り組みます。

目標（1）心身の安全・安心の確立

- 安全であることを感じ、安心できることにより、子どもたちは自分の力を發揮することができます。
子どもたちの活動、自己実現に向けた意欲の基盤となる「心の安全・安心」をつくります。
- ・担任は、一人一人の子どもと1日最低1回は会話をします。子どもたちの言動を認め、褒め、理解の上で指導します。
- ・問題となる行動には、必ず背景となる理由がある、ということを常に念頭におき、子どもと対話します。
- ・すべての子どもを全教員で見る。気付いたことを即時に報告・連絡・相談につなげます。早期発見、早期対応がリスクを少なくします。
- ・子どもたちが、「I am OK. You are OK.」と自信をもてるようになります。
- ・「不登校ゼロ」を目指し、「欠席1日目の電話連絡」、「2日目の本人との対話」、「3日日の家庭訪問」を確実に実施します。

- きれいで美しい場所は子どもたちの心を美しくします。
きれいで美しい場所を子どもたちは大切にします。子どもたちの穏やかで優しい心の基盤となる「明るくさわやかで安全な環境」をつくります。
- ・教職員全員で、環境の整美に努めます。廊下のごみゼロ、ガラスの糊跡ゼロ、靴箱の不要物ゼロ、晴れの日の傘の放置ゼロ、教室の床の毎日の清掃、掲示物の上下4か所固定、期限切れ掲示物ゼロを実施します。
- ・校長、副校长、主幹教諭、主任教諭は、校内を巡回し、施設・設備の安全や衛生を担保すると共に、学級経営の指導・支援を積極的に行います。

- あいさつは人間形成のはじめの一歩です。あいさつの声が絶えない学校をつくります。
- ・「あいさつをする」、「お願いします。ありがとうございます。失礼します。すみません。が言える」ということは、「あなたに好感をもっています」の表現であると伝え、良好な人間関係を作り、誰からも愛される人として成長するために大切なことであると常に指導します。
- ・すべての子どもが、先語後礼のあいさつの良さを理解し、行えるようにします。

目標（2）確かな学力の育成=「かしこい子」の育成

本校の「かしこい子」は、学び合いの中で、思考力・判断力・表現力を身に付け、自ら学ぶ子どもです。

変化の激しい時代に生きる子どもたちに、学力の3要素である、自ら「学びに向かう力・人間性」「基盤となる知識・技能」「思考・判断・表現する力」を育みます。

○学びに向かう力を育成します。

- ・「教室は、まちがうところだ！」を授業の基本方針として、子どもたちが、まちがいを恐れず、問題解決に取り組み、自分の考えをもって表現できるようにします。
- ・子どもたちの言葉で授業を進め、子どもたちが自分の考えをもって表現すること大切にします。
- ・外部教育力を活用した特別授業を年間50回以上実施して、子どもたちの知的好奇心や興味関心を高めます。

○思考・判断・表現する力、対話し協働する力を育成し、未知なるもの、解決が難しいものに目を向けて取り組む態度や、新たな価値を生み出す創造力を育みます。

- ・学習のめあて、学習問題を明確にし、その達成や解決に向けて、見通しを立てて問題解決に取り組む授業を毎回実践します。
- ・子どもの言葉で授業を進め、子どもが筋道立てて論理的に表現し合って学習のまとめができるようにします。
- ・子どもたちが、「自分の考えをもち」「言葉や図等で表現し」「友達や大人と対話して」「考えを深める」学習を進めます。
- ・自分の考えをもち、他者と対話して、考えを比較検討、統合、深化させて新たな考えを得る学習を実践します。
- ・問い合わせ立て、「なぜなら」と自分の考えを説明する場面のある授業を毎回実践して、論理的思考力につなげます。
- ・体験的な学習の中で人や物とかかわる力、見て、聴いて、感じる力を育てます。図書資料を活用した学習を実践することにより、書物から情報を得る力を育てます。
- ・デジタル技術を学習にフル活用し、子どもたちの学力向上へと結びつけます。ホームページやSNS、電子メール等のインターネットのツールを利用したり、プログラミングにより問題解決したりする学習を実践して、情報活用能力と情報モラルを育てます。

○基盤となる基礎的・基本的な知識・技能が定着するようになります。

- ・日常的に書く機会を増やして書く力を高めます。
- ・東京ベーシックドリルを徹底活用して算数科の前学年診断テスト正答率100%を実現します。
- ・音読学習、学校図書館や地域図書館と連携した読書活動の推進、校内読書活動の実施により、読む力を高めます。

目標（3）社会で自立できる人間性の育成=「やさしい子」の育成

本校の「やさしい子」は、規範意識が高く、相互理解に努め、人のために尽くす子どもです。人への思いやりがもてるようになるには、自分が幸せで、心が安定することが必要だと考えます。子どもたちが自分を幸せと感じられるようになるには、自分の存在が認められている、大切にされていると感じられるようにすることが必要だと考えます。

○子どもたちの行動の背景や原因を探り、子どもたちに接します。

- ・失敗の経験が過剰に蓄積されると自己肯定感は下がり、自分が認められると感じることが難しくなります。様々な問題行動の背景には、必ず、心理的な背景や原因があることを、教育に携わるプロとして忘れずに、子どもたちに接します。
- ・明るく聞こえる声での「あいさつ」、素直な「返事」、自分が使ったものの「後始末」ができる人が、多くの人から愛される、という意味を説き、徹底して指導します。
- ・思いやり、気配り、時と場と相手に応じた言葉遣いを根気強く指導します。
- ・集団生活を送る上での「約束・ルール・マナー」の意味を理解させ、継続的に指導することにより、子どもたちに規範意識を醸成します。

○人権尊重の精神を養います。

- ・生命への畏敬の念をもち、人権を尊重する心をもつよう、常に指導します。
- ・すべての子どもを「さん」付けて呼名します。
- ・子どもとともに活動し、子どもとともに遊びます。
- ・指導の根拠と理由を子どもたちが理解できるよう、事前指導、筋道立てた指導を行います。
- ・あいまいな表現やファジーな判断基準を示さず、是々非々を明確にすることで、子どもたちの判断力を育て、子どもたちに自律を促します。
- ・怒声で子どもを威嚇しない指導を徹底します。

○いじめ防止、児童虐待防止に組織的取組に取り組み、未然防止、早期発見、早期対応を行います。

- ・差別といじめはどんな理由があっても絶対にいけないことであることを徹底して指導します。
- ・いじめはいつでもだれにでも起こるものと考え、いじめに気付いた教職員は隠蔽せず、生活指導主任、学年主任を核として、いじめ防止には常に組織的に対応します。
- ・いじめ等の問題行動を把握したら、聞き取りや事実確認を、その日のうちに即座に行います。
- ・夕会、生活指導夕会において、情報と課題を迅速に共有するとともに、対応します。

- ・いじめ防止アンケートを隔月で実施し、実施後の聞き取り調査、報告会を確実に実施します。
- ・いじめ防止対策委員会を毎月実施します。
- ・校内、校外を問わず情報を共有し、迅速で組織的な対応を行います。

○共生社会で生きる力、社会的自立を促す特別支援教育を実践します。

- ・子どもたち一人ひとりの多様な個性を認めるとともに、必要な社会性を指導します。
- ・一人一人の子どもを大切にする児童理解に基づいた特別支援教育、ユニバーサルデザインの授業と学級経営を実践します。
 - ・授業のユニバーサルデザイン…視覚化、焦点化、共有化
 - ・教室環境のユニバーサルデザイン…刺激量の調整、構造化、ルールの明確化
 - ・人的環境のユニバーサルデザイン…自他ともに認め合う風土、認められている教師と子どもの関係
- ・特別な支援を必要とする子どもが、将来、社会的に自立するための教育的支援を、教員、支援員、巡回指導教員、特別支援教室専門員、相談員、カウンセラー等の全教職員と、福祉センターや子ども家庭支援センター等の専門機関を総動員し、チーム学校として実践します。

○安全意識を育み、重大事故ゼロを実現します。

- ・「廊下・階段の右側歩行」「室内での過ごし方」「校庭・体育館での遊び方」等、事故防止ためのルールを徹底し、確実に指導します。
- ・交通ルールやマナーを常に指導するとともに、警察署、スクールガード、保護者、地域と連携して、交通事故を防止します。
- ・危機管理マニュアル、学校防災計画を周知徹底するとともに、現実的な防災訓練を実施します。
- ・SNS東京ルール・学校ルール・家庭ルールの周知徹底、警察署や専門家と連携したネットトラブルに関する授業の実施、保護者会を活用した啓発によって、情報モラル教育を行います。

目標（4）たくましく生きる力の育成=「たくましい子」の育成

本校の「たくましい子」は、心身ともに健康で、体力・気力・意欲に満ち、レジリエンスの高い子どもです。未知の問題やストレスに対し、折れず、しなやかに回復して立ち上がる心と体を育みます。

- ・問題解決してやり遂げる経験を積めるようにします。
- ・子どもたちが安心して自分を発揮できる環境を構築し、子どもたちが自己実現できるようにします。

5月行事予定表

日	曜	朝	学校行事・特別活動等	授業時間数						日	曜	朝	学校行事・特別活動等	授業時間数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年					1年	2年	3年	4年	5年	6年
1 水	朝学習			4	5	5	5	5	5	17	金	4・5・6年運動会練習	6年運動会係活動	5	5	5	5	5	6
2 木	▼特時朝学習	1年遠足,地域訪問終(4/9~5/2)		4	5	5	5	5	5	18	土								
3 金		憲法記念日								19	日								
4 土		みどりの日								20	月	朝会	目白大学観察実習始	5	5	5	6	6	6
5 日		こどもの日								21	火	1・2・3年運動会練習	6年こころの劇場,尿検査1次(未提出回収)	5	6	6	6	6	6
6 月		振替休日								22	水	4・5・6年運動会練習		5	5	5	5	5	5
7 火	朝会	運動会練習始,耳鼻科検診⑤2年		4	6	6	6	6	6	23	木	朝学習	運動会会場等準備(係活動②含)インターんシップ③	4	4	4	4	4	5
8 水	朝学習	4時間授業,心臓検診1年		4	4	4	4	4	4	24	金	朝学習	運動会リハーサル(児童鑑賞日)	4	4	4	5	5	5
9 木	朝学習	眼科検診(全学年),インターんシップ①(日本女子大)		4	5	6	6	6	6	25	土	健康観察開会式	運動会,5時間授業(給食有)	5	5	5	5	5	5
10 金	1・2・3年運動会練習	耳鼻科検診⑥1年		5	5	6	6	6	6	26	日								
11 土	朝学習	土曜授業公開,避難訓練(中野中・緑野中校区合同引渡し訓練),安全指導		3	3	3	3	3	3	27	月		振替休業日						
12 日										28	火	朝会	運動会予備日	5	6	6	6	6	6
13 月	朝会	委員会活動,教育実習始(~6/7)		5	5	5	5	6	6	29	水	朝学習	下校指導	5	5	5	5	5	5
14 火	朝学習	尿検査1次(回収),1年遠足(予備日)		5	6	6	6	6	6	30	木	集会		5	5	6	6	6	6
15 水	1・2・3年運動会練習	4時間授業		4	4	4	4	4	4	31	金	▼特時朝学習	5年移動教室説明会	5	5	6	6	6	6
16 木	朝学習	インターんシップ②		5	5	6	6	6	6										

6月行事予定表

日	曜	朝	学校行事・特別活動等	授業時間数						日	曜	朝	学校行事・特別活動等	授業時間数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年					1年	2年	3年	4年	5年	6年
1 土										4	火	朝学習	尿検査2次,歯と口の健康週間始『歯ツッピ一周間』(6/4~10)	5	6	6	6	6	6
2 日										5	水	朝学習	委員会活動	4	4	4	4	5	5
3 月	朝会	クラブ活動,新体力テスト月間始(~6/30),読書月間(始)		5	5	5	6	6	6	6	木	朝学習	尿検査2次,歯科検診(全学年)	5	5	6	6	6	6

運動会に向けて心と身体の準備を

主任養護教諭

連休が明けると、運動会の練習が本格的に始まります。普段使わない筋肉を使ったり、同じ動きを繰り返したりすることで、疲れや筋肉痛が出てくることがあります。身体を多く動かした日や慣れない運動をした日は、疲労回復のため早めに就寝するよう心掛けて下さい。

気温が徐々に高くなってきましたが、急に暑くなる日もあります。こまめに水分補給ができるよう、水筒の準備を忘れずにお願いします。

はきものをそろえると 心もそろう

はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものがそろう …

という詩があります。全校朝会で、子どもたちにこの詩を紹介しながら、子どもたちに下足箱の整理を呼び掛けています。

心と履物をそろえて学習に向かうことができるように子どもたちへと、成長してほしいと願っています。

生活指導部



6年生の下足箱
他の学年の下足箱もよくそろっています。

